

THE LONGINES WORLD'S BEST RACEHORSE RANKINGS

The official listing of the world's best racehorses

(For 3yos and upwards which raced between 1st January and 4th May 2014)

3月にメイダン競馬場で施行されたドバイデューティフリー（G1）を6馬身以上の差をつけ制したジャスタウェイ【130】が、今回発表の最新版ロンジンワールドベストレースホースランキングにおいても首位の座を維持した。

LONGINES World's Best Racehorse Rankings			
Leading Horses			
Rank	Horse	Rating	Trained
1	JUST A WAY (JPN)	130	JPN
2	VARIETY CLUB (SAF)	126	UAE
3	GAME ON DUDE (USA)	125	USA
4	CALIFORNIA CHROME (USA)	124	USA
5	AFRICAN STORY (GB)	123	UAE
5	CIRRUS DES AIGLES (FR)	123	FR
5	DESIGNS ON ROME (IRE)	123	HK
5	LANKAN RUPEE (AUS)	123	AUS
5	MILITARY ATTACK (IRE) (ex Rave)	123	HK
5	WILL TAKE CHARGE (USA)	123	USA

しかしながら、ヴァライエティクラブ【126】がチャンピオンズマイル(G1)を圧巻のパフォーマンスで制したことにより、ランキングトップと2位との差が4ポンドに縮まった。今年3月のゴドルフィンマイル(G2)を制していた同馬はチャンピオンズマイルでは2着エイブルフレンド【118】に4馬身差をつけ、他馬を圧倒した。

この結果、3月にサンタアニタハンデ(G1)を制したゲームオンデュード【125】は3位に後退した。

前回発表の7位から今回4位に順位を上げたのがカリフォルニアクローム【124】である。同馬はケンタッキーダービー(G1)で1番人気に支持され、見事その期待に応え勝利を収めた。これまで常に際立つパフォーマンスを見せてきた同馬であるが、このレースでも直線入口で先頭に立つと、他馬を寄せ付けない完勝劇を演じた。楽勝だったので騎手がゴール前でガツツポーズをするほどだった。

同馬は現時点では3歳トップであるが、この先2ヶ月間に施行されるヨーロッパの3歳G1競走の結果によってはその勢力図が変わるかもしれない。

ランカンルピー【123】は TJ スミス S(G1)を制したことで前回の 121 ポンドからこれまでの最高値 123 ポンドまで評価を上げ、スプリント部門トップの地位をさらに強固なものとした。同馬は出走する度に成長を見せており、今回も重馬場をこなしたように、幅広い適性を見せてきてている。

ガネー賞(G1)の結果はある意味驚きでもあった。というのもシリュスデゼーグル【123】が昨年ランキングトップのトレヴ【119】を降したからだ。シリュスデゼーグルは昨年も 123 ポンドの評価を得ていたが、ドバイ出走後、更なる良化を見せ、この競走で昨年同様の評価を得ることとなった。

今回新たにランクインしたのがクイーンエリザベス II 世カップ(G1)を制したデザインズオンローム【123】である。同馬はこの競走でミリタリー・アタック【123】を僅差降した。